



炉端の会
2019.07

「炉端の会」のひとり言-1

◇5月26日、「船越の舞台」の特別公開の様子

今回の「船越の舞台」の公開では、これまでの舞台に上がって見て頂く事に加えて、新たな催しとして、「回り舞台」の上に乗って回る体験と、奈落に下りて「回り舞台」を押して回す体験も行われました。

特別公開は午前中からでしたが「回り舞台」体験は13時30分午後から3時迄で、約80名のお客さんに「回る舞台」の上に乗って回る体験をした後は、奈落に進んでもらい「回り舞台」を回す体験をしてもらい好評でした。

午前中を含めれば、「船越の舞台」の見学者の総数は、約160名でした。

尚、「炉端の会」火曜班の6名の方々が催し会場での見学者対応などの支援を担当しました。



(船越の舞台、「回り舞台」の中央に金箔の屏風と朱毛氈が用意されていました)



(「回り舞台」に乗って回るのを体験してる様子、この後に奈落へ下がり、今度は、回す側を体験)



炉端の会
2019.07

「炉端の会」のひとり言-2

◇宿場エリアの鈴木家と井岡家の「床上公開」について

日本民家園の正門から入園した時に最初に出会うのが「宿場エリア」、坂道の上にある宿場ポストから入ると右側に鈴木家(奥州街道沿いの「馬宿」と左側に井岡家(柳生街道沿いの「油屋」)です。

この2棟は、民家園や古民家に対する第一印象をあたえる古民家となります。「炉端の会」では、両棟の何れかの「床上公開」の担当班になった場合、担当棟と同様にもう一方の棟の説明などの支援活動を並行して行うようにしています。



(宿場エリア、坂上の鈴木家と井岡家)



(柳生街道沿いの「油屋」井岡家)



(奥州街道沿いの「馬宿」鈴木家)